

所 管 事 項 調 査 に 関 す る 資 料

目 次

- 1 長崎市中心部の交通結節等検討会議について …… 1 ～ 7 ページ

土木部 ・ まちづくり部

令和2年2月

長崎市中心部交通結節等検討会議

(1) 目的

○長崎駅周辺の再整備事業においては、交通結節強化に向けた検討に取り組んできたが、駅前国道の交通量が多いことから様々なものが実現できず、新しい長崎駅と路線バス・路面電車の結節機能に課題が残ることや、また、松が枝地区においては、2バス化に伴って訪日外国人等を県内市内へ円滑に回遊させるための施策が必要である。

○今後、長崎の長期的な発展のためには、市民や観光客等の多くの利用者にとって、快適で利便性が高く、公共交通の利用促進につながる交通結節機能の確立が重要であることから、交通事業者、経済関係者、学識経験者、行政で構成する「長崎市中心部の交通結節等検討会議」を設立し、交通結節機能の強化・拡充について検討を行う。

(2) 委員構成

所 属		役 職
国土交通省 九州地方整備局	道路部	部長
	長崎河川国道事務所	所長
	港湾空港部	部長
	長崎港湾・空港整備事務所	所長
	九州運輸局	部長
	長崎運輸支局	支局長
長崎県	土木部	副知事 部長 ◎
長崎市	土木部	副市長
	まちづくり部	部長
長崎県警本部	交通部	部長
交通事業者	九州旅客鉄道（鉄道）	長崎支社長
	長崎県交通局（バス）	局長
	長崎自動車（バス）	取締役自動車本部長
	長崎電気軌道（路面電車）	取締役電車事業部長
	長崎市タクシー協会（タクシー）	会長
経済界	長崎商工会議所	副会頭
	長崎経済同友会	副代表幹事
	長崎国際観光コンベンション協会	会長
学識経験者	長崎県立大学	西岡 誠治
	東京大学大学院	羽藤 英二

注) ◎は座長

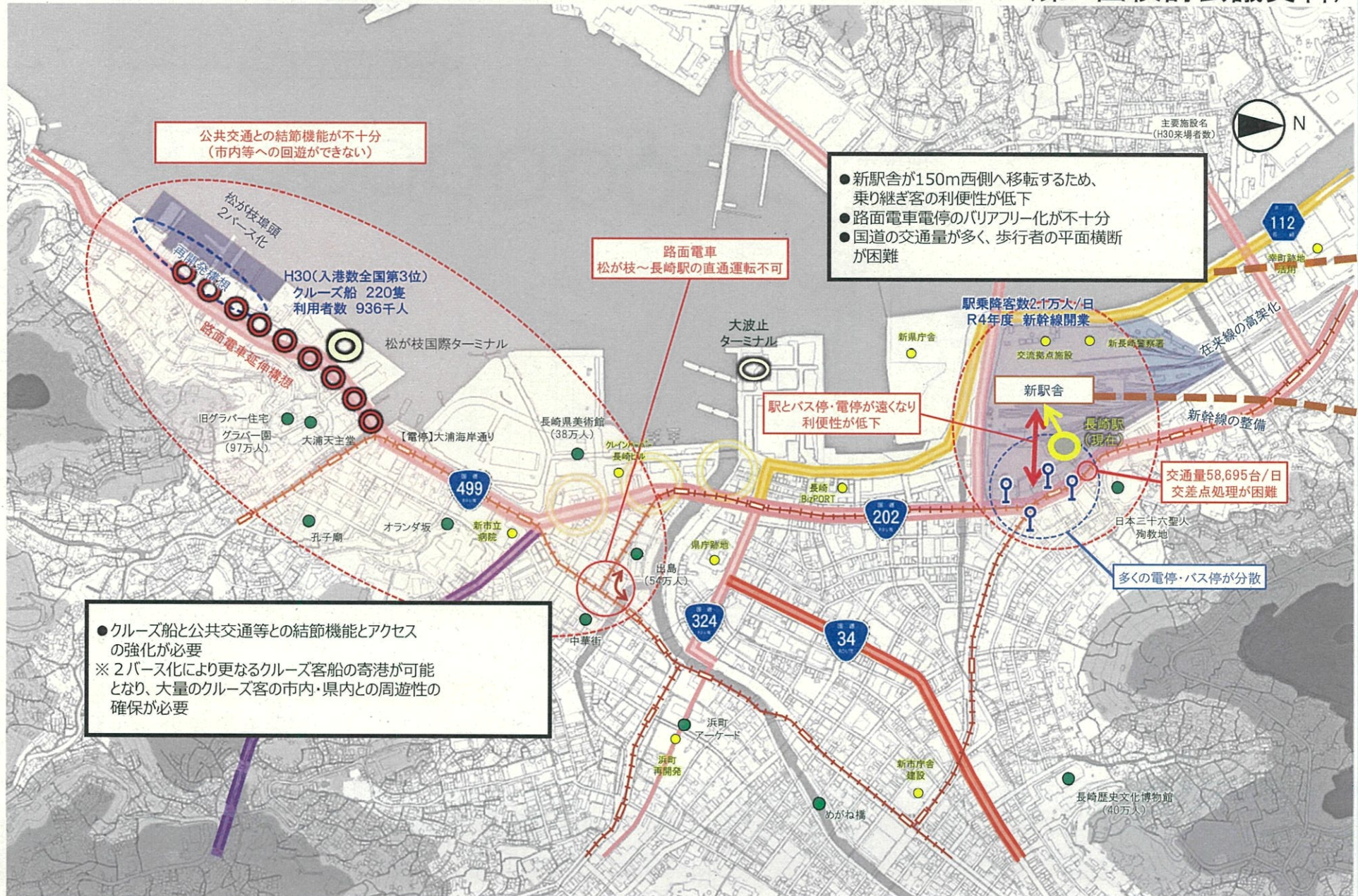
(3)スケジュール

R1 8/20	第1回 検討会議	【議題】 ・検討会議の設立 ・検討対象、課題確認 ・今後の進め方
R1 10/8	第1回 幹事会	【議題】 アイデアに対する意見の聴取 ・現状と課題の確認 ・対策案(整備イメージ)の検討
R1 11/6	第2回 幹事会	【議題】 評価案の作成に向けた検討 ・現状と課題の整理 ・対策案(整備イメージ)の検討
R1 12/20	第3回 幹事会	【議題】 対策案の比較 ・評価項目の整理
R2 2/5	第4回 幹事会	【議題】 対策案の比較 ・各案の評価
R2 2/19	第2回 検討会議	【議題】 対策案の検討 (長崎駅周辺の対策・松が枝地区の対策)
R2 3/17	第5回 幹事会	【議題】 基本計画(案)の検討 (長崎駅周辺の対策・松が枝地区の対策)
R2 3/25	第3回 検討会議	【議題】 基本計画(案)のとりまとめ (長崎駅周辺の対策・松が枝地区の対策)

※検討を進めていく過程において、住民等の意見を聞くための機会を検討する。

(4) 長崎市中心部における交通結節の課題

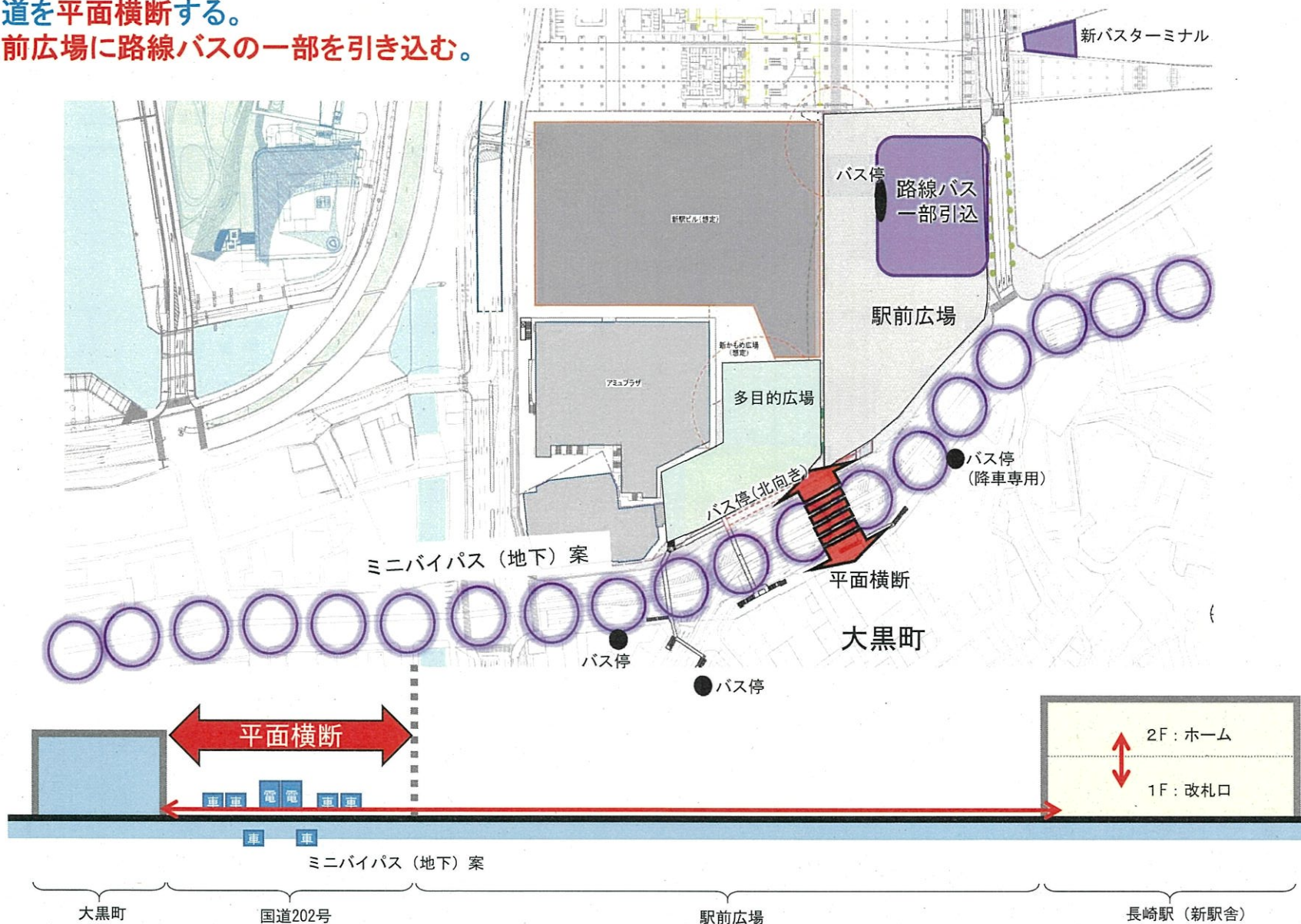
(第1回検討会議資料)



(5) 長崎駅前地区

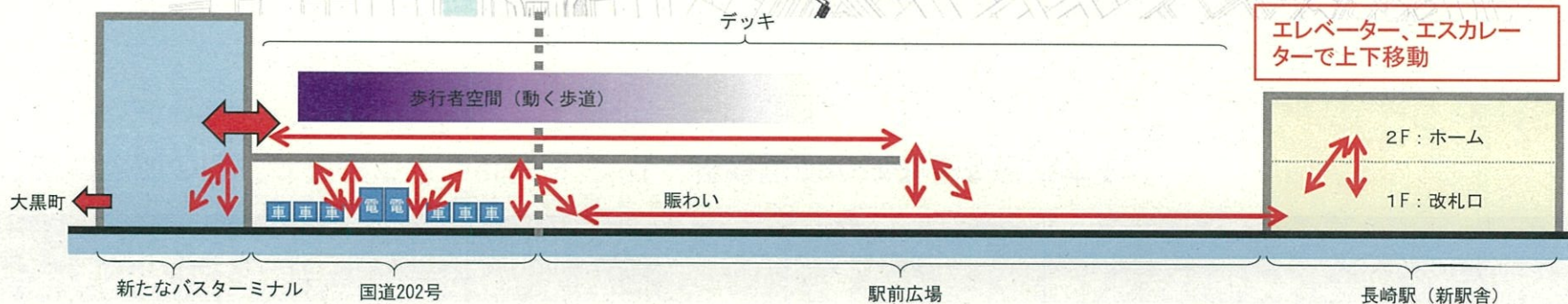
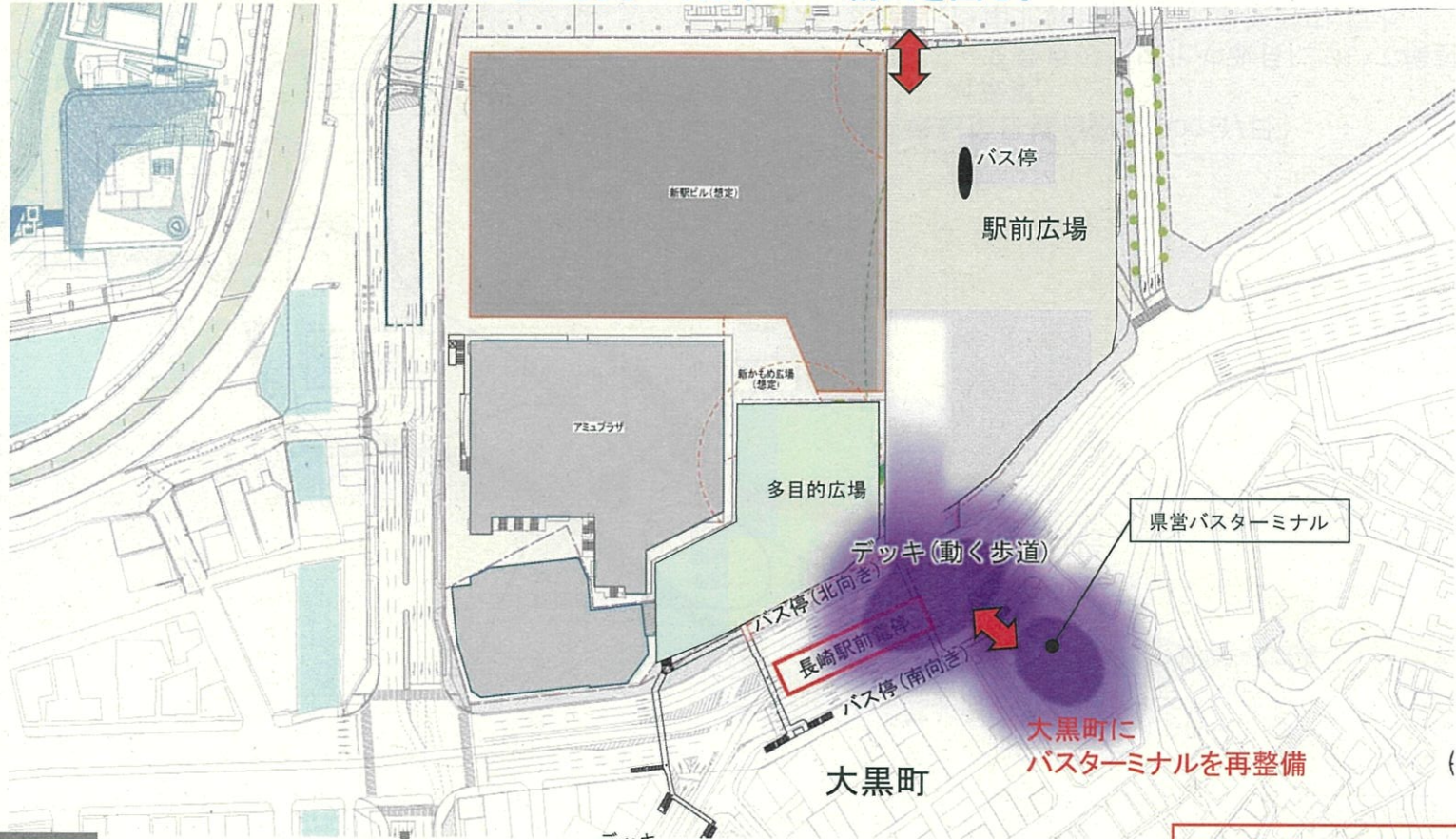
① 対策案1 (長崎駅側にバスターミナルを、国道にミニバイパスを整備し、平面横断を目指す案)

- 川沿いの道路(浦上川線)への交通転換に加えてミニバイパスの整備により駅前交通量を低減させる。
- 国道を平面横断する。
- 駅前広場に路線バスの一部を引き込む。



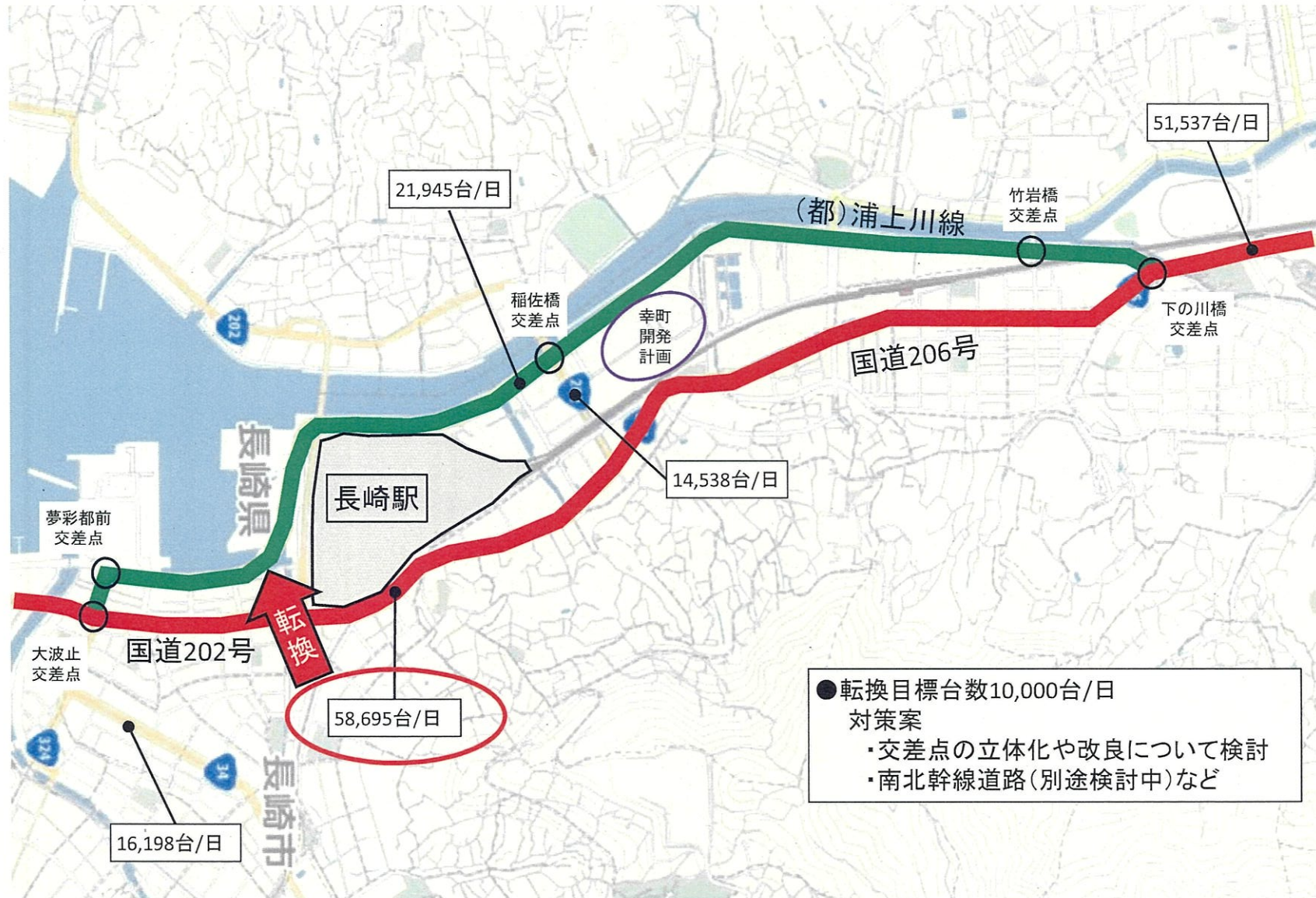
② 対策案2 (大黒町側にバスターミナルを整備し、デッキで長崎駅側と接続する案)

- 大黒町にバスターミナルを再整備する。また、デッキ付近にバス停を集約し、バス乗り場の分散を解消する。
- デッキ上に動く歩道を設置し、駅からバス停、電停までの歩行者の移動を支援する。
- 駅とバスターミナルをデッキで結びまちと駅を連携させ、賑わいの創出を図る。



③ 共通対策案（浦上川線への国道交通量転換案）

○長崎駅前の国道交通量を浦上川線へ転換し、長崎駅前の交通量を低減する。



(6) 松が枝地区

① 松が枝地区対策案

○ 複合交通ターミナル、路面電車延伸・北部方面の直通化により交通結節機能を強化する

複合交通ターミナルを設置し、交通結節機能の強化を図る。また、松が枝ふ頭への路面電車の延伸し、石橋方面の利便性を維持しながら、松が枝地区における交通結節機能を強化する。さらに、路面電車の短絡ルートの新設または三方分岐により、長崎駅方面への直行便を実現させ、クルーズ客の周遊圏域の拡大を図る。

